

## 6. 陸上昆虫類等調査結果の概要

## 6. 陸上昆虫類等調査結果の概要

### (1) 確認種数

今回とりまとめを行った19河川で確認された陸上昆虫類等は、24目435科約5800種です。また、確認種数が多かった河川は東北地方雄物川の2527種、中部地方天竜川の2249種などでした。

### (2) 特定種の確認種数（資料II.6.1）

今回とりまとめを行った19河川で確認された特定種は、レッドデータブック絶滅危惧種のヒヌマイトトンボなど全部で19種でした。また、特定種が確認種数が多かった河川は、北海道地方十勝川、中部地方天竜川の4種などでした。

#### （注）特定種の定義

本資料においては、次のものを特定種としています。

- ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種及び緊急指定種
- ・環境庁編（1991）「日本の絶滅のおそれのある野生生物－レッドデータブック－」掲載種
- ・環境庁編（1976）「緑の国勢調査（第1回自然環境保全調査）」における「すぐれた自然の調査」対象種
- ・環境庁編（1982）「緑の国勢調査（第2回自然環境保全基礎調査）」における「日本の重要な昆虫類」の指標昆虫

### (3) 外来種の確認種数と割合（資料II.6.2）

今回とりまとめを行った19河川で確認された外来種は30種です。また、現地確認種数に占める外来種の割合が高かった河川は、関東地方江戸川、中国地方旭川の1.5%などでした。

#### （注）外来種の選定基準について

本資料における外来種は、おおよそ明治以降に侵入したと考えられる国外由来の動植物を扱い、侵入後に日本で定着した帰化種であるか否かは、判断が困難な種があるため考慮していません。また、外来種の選定は、巻末に添付した文献および学識経験者の意見により行っています。

### (4) ミヤマシジミ・シルビアシジミの確認状況（資料II.6.3）

確認状況の概要は、14ページに示すとおりです。